

8月の園だより

令和5年7月20日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

「たのしかった なつまつり～親子の関わりから～」

園長 石床 美穂子

7月15日に、「こどもえんまつり」が行われました。コロナ前は、PTA 主催でしたが、コロナ禍においては、園児のみで行っていました。昨年からは、子供園と PTA の共催となり、学年ごとに行う形で今年度に引き継がれています。子どもたちにとっては、お父さん、お母さんと一緒に遊ぶ楽しいひとときになるように、また保護者の方には、親子で一緒に遊ぶことで、園での子どもたちの様子を知ったり、親子で遊ぶ楽しさを感じたりできるようにと考えています。さらに、家族だけでなく、学級の親子みんなの親睦を図る機会にもしていきたいと考えています。このようなねらいをもち、園と PTA が“子どもたちに豊かな体験を”と、一緒に進めていくことは、とても意義のあることです。

「こどもえんまつり」は、どの学年も笑顔いっぱいの楽しい時間となりました。何日も前から期待感いっぱいだった子どもたちの楽しそうな姿を見て、とてもうれしく感じました。その中で、印象的だったのは、保護者の方々の姿でした。おまつりマップを見ながら「どれからやる？」と子どもに聞いて決める、ヨーヨー釣りをしている子どもの様子をじっと見守り釣れると「よかったね。」と声をかける、親子で金魚すくいをしながら「どれをすくおうかな？」と一緒にワクワクする、射的でどうしたらよいかやり方が分からないときは、「こうするといいよ。」とコツを教える、ビー玉ころがしではゴールに入ると一緒に喜び、入らないときは一緒に残念がる（どちらも笑顔）、ボール投げでは、「早い玉を投げられるようになったね。」と成長した姿を言葉にして伝える、盆踊りでは“西荻北子供園音頭”を笑顔で一緒に踊るなど・・・子どもたちの気持ちや姿に寄り添って、受け止めたり、共感したりする姿があり、ご家庭でも一人ひとりの子どもたちが大切にされていることが感じられる場面がたくさんありました。

このようなことは、当たり前のようにですが、実は簡単なことではないのです。子どものことを尊重しているからこそその関わりなのです。失敗しないように大人が先回りして教えてしまう、できた・できないで判断する、よいところに気付いても言葉にしないなどの関わり方も実際にはあるのです。でも、西荻北子供園の保護者の方は、子どもたちを尊重し、一緒に楽しんでいて、子どもたちはうれしかったと思います。

日々の生活では、大人も忙しく、なかなか子どもとゆったりと関わることや、いつもどのようなときも気持ちを受け止めて向き合うことは難しいと思います。けれども、お父さんやお母さんが自分のことを見ていてくれていると感じられることは、安心感となります。この安心感が情緒的な絆となり、子どもたちが生きていく上で、大きな力となります。園でも一人ひとりを大切に、思いを受け止め、子どもの意欲を支える保育者の関わりとなるようにしています。子どもの周りにはいる大人が、子どもたちの成長を願いながら、子どもたちに丁寧に関わっていききたいですね。

2、3学期は、“人形劇”や“講演講習”などの PTA 活動があります。教職員と保護者の方たち、保護者同士等、子どもの育ちを真ん中にして繋がりながら、園と PTA で一緒に進めてまいりましょう。どうぞ、よろしくお願いたします。

子どもたちの様子と8月のねらい（長時間保育）

長時間保育 うさぎ組

<今月のねらい>

- やりたい遊びを見付け、十分に楽しむ。
- 夏ならではの遊びを保育者や周りの幼児と一緒に楽しむ。
- 長時間保育の夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

長時間保育 くま組

<今月のねらい>

- 夏ならではの遊びや自分で選んだ遊びをすることを楽しむ。
- 異年齢児と一緒に遊んだり、関わったりすることを楽しむ。
- 長時間保育の夏の生活の仕方が分かり、自分のことは自分でしようとする。

長時間保育 そう組

<今月のねらい>

- 自分なりのめあてをもったり、友達と思いを出し合ったりしながら、夏ならではの遊びや自分で選んだ遊びをすることを楽しむ。
- 異年齢児との関わり方を考えて優しく接しようとしたり、一緒に遊んだりする。
- 長時間保育の夏の生活の仕方が分かり、見通しをもって生活を進めようとする。

<家庭との連携>

- 日中の暑さやプール遊び・水遊びなどで疲れが出てくることと思います。子ども一人ひとりの体調を気に掛けながら、楽しく過ごせるように活動を工夫していきます。ご家庭でも十分な休息がとれるように、早めの就寝を心掛けるようにし、体調管理をお願いします。